

1 学校基本情報

種別	聴覚障害	学部・ 学科	幼・小・中・高・専	児童生徒数	(男) 109 (女) 74	計 183
ホームページ	http://www.ohmiya-sd.spec.ed.jp/					
アクセス	JR 宇都宮線土呂駅下車徒歩 7 分					
教育課程等 の特徴	聴覚障害などの障害特性を踏まえた教育を実践。高等部本科は普通科、産業工芸科、生活デザイン科を設け、高等部専攻科は情報・ビジネスコースと技能実習コースを設けている。その他、支援籍支援、乳幼児教育相談など、関係諸機関、地域との連携に努めている。					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼小中高と様々な行事があり、運動会、のぼら祭、マラソン大会などを実施している。 ・ 部活動は野球部、バレー部、卓球部、陸上部、美術部があり、中高共同で活動している。 ・ 野球部は関東聾学校野球大会で準優勝、陸上部は関東聾学校陸上競技大会男子総合優勝、全国聾学校陸上競技大会男子総合準優勝するなど日々の練習成果を出している。 					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校公開 2 回、進路関係者向け学校公開 1 回、授業見学会 1 回実施。 ・ 坂戸ろう学園との交流、支援籍の交流及び共同学習を実施している。 ・ 年 1 回ののぼら祭を開催し、地域との交流に努めている。 					
進路に ついて	幼稚部・小学部・中学部は内部進学もしくは外部進学している。最近では、大学や専攻科への進学も多く、また就職率も高い。ろう重複は福祉的就労など、専攻科では企業就労 100% (製造業や事務職) を目指している。					

(※児童生徒数：H29.5.1 現在)

本校の魅力！

幼児児童生徒一人一人の発達段階や将来像に合わせた適切な指導及び合理的配慮の実施、部活動を通して豊かな人間形成を図り、放課後補習や課外研究で自ら学ぶことによって最大限能力を発揮しようとする児童生徒の育成

- ・ 聴覚障害の特性に応じた一人一人の実態に応じた「個別の教育支援計画」を作成し、集団による教育実践、個別対応の支援を行います。
- ・ 卒業後の進路を見据えて、中学部、高等部の進路指導の一環として現場実習を行います。
- ・ 進路を考える上で、聴覚障害のある先生方が障害当事者として様々な相談にのったりしています。
- ・ 学校内では共通コミュニケーションとして手話を使っており、児童生徒にとって分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。
- ・ すべての授業の中で日本語指導について常に意識しており、日本語の習得のために日々研究しています。

(授業の様子)



(運動会)



(のぼら祭)



すべての児童生徒が「わかる授業」を受けられるように頑張ります！！
コミュニケーションの楽しさを楽しむように環境作りに励みます！！

本校の特色

- ◇本校の教育方針 ①言語教育の充実 ②基礎基本の重視 ③生活指導の充実 ④健康・安全教育の充実 ⑤保護者・関係諸機関との連携
- ◇教育内容の特色 ⑥教育環境の整備 ⑦教職員の研究・研修の充実
共通コミュニケーション手段として手話を使用。よく分かる授業づくりを提供し、日本語指導を行うとともに基礎学力の定着を図り、また集団生活を通して、社会性を身につけるとともに、資格取得の推進を行います。
- ◇地域との連携 医療・福祉等の関係諸機関との連携を充実するとともに、聴覚障害者当事者団体との連携も図っています。

関係諸機関

医療機関・児童相談所・福祉事務所・療育施設

地域

障害当事者団体及び関連団体など

情報保障 手話通訳 PC通訳

進路指導

現場実習、試験対策、進路相談

高い進学率・就職率、福祉事業所入所希望の実現を目指しています

共生社会の実現

就職・進学

社会・コミュニティ 家庭 多様性

小論文・面接指導などきめ細かい指導をします

センター的機能

支援籍

支援部

地域支援 校内支援

特別支援教育コーディネーター・乳幼児教育相談・聴覚支援部

心の健康支援委員会 (いじめ防止委員会)

SC, SSW

教職員研修

日本手話・人権・情報保障・自立活動・発音指導・発達障害など

高等部本科・専攻科

わかりやすい授業づくり

部活動

陸上：全国大会二連覇

進学・就職支援

野球：関東大会準優勝

資格取得の推進

放課後補習

生徒指導

情報モラル SNSのマナー 自主学习

集団生活

集団生活

集団生活

幼稚部

豊かなコミュニケーションのびのび元気に明るく様々な体験を

保護者支援

小学部

集会活動 話し合い活動 坂戸ろう学園・小学校との交流

中学部

家庭学習の定着 トークタイム(自分を伝える) のぼら祭劇発表(プロによる指導)

寄宿舎

小学部から高等部専攻科までの児童生徒を対象に集団生活指導

⇒人格形成

学校行事

・運動会 ・のぼら祭 ・修学旅行 ・遠足、見学会 ・試験・生徒会

産業工芸・生活デザイン(キャリア教育の実践)

キャリア教育(職場体験・現場実習・資格取得)

集団できめ細かい教育

キャリア教育 (生活体験学習・社会体験学習などを学年ごとに段階的に実施)

合理的配慮の実施 (個別の教育支援計画・個別指導計画)

手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段を活用します！日本語の指導に力を入れています！保護者支援も行っています！